

一方、南部町も本格的な少子化となり、昨年1年間に出生した赤ちゃんは67人と、第2次ベビーブームの昭和48年頃の150人前後と比較して大幅に低下して来ています。このままでは町の人口は激減し活力が無くなって参りますので、人口増加施策は喫緊の課題です。従来の少子化対策を一旦仕切り直し、平成26年度を初年度とする、新たな少子化対策に取り組んで参ります。

更に本年は、鶴田の大規模太陽光発電所が完成し発電が始まります。自然エネルギーによる新たな財源確保で、南部町の未来への様々な投資を皆様と一緒に考えて参りたいと存じます。2月頃には町民公募債を募集しますので、南部町の未来作りに奮ってご応募ください。

なお、合併後の課題であります水道料金の一統について前進させなければなりません。平成26年度の完成に向けて計画的に進めてきた水道統合事業も、少し遅れ気味ですが着実に進んでいます。料金改定もセットで進めていますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。他にも様々な課題が山積していますが、先頭に立つて努力することをお誓い申し上げますと共に、ご協力を賜りますようお願いいたします。

平成二十六年 元旦

南部町長

坂本 昭文